

# 水無月俳句・短歌集

## みなみうわ俳句会

軒下の不協和音や燕の子  
聞き上手なぐさめ上手春の星  
山道で鶯達と渡り合い  
三代に亘る枝垂れの花重し  
浮き小屋に音なき雨や残り鴨  
エイサーの空切る足や風光る  
星朧昭和歌謡を聞きながら  
花疲れしているらしき生返事  
茅花の穂幼き日々の甘き味

## 檳榔子

閉校の薄暮にともる花あかり  
山頂のカーンタービレや木々芽吹き  
遺句集を紐解きて春惜しみけり  
絵手紙の水とならない雪うさぎ  
仏生会御身の雫きらめけり  
大山に芽吹きの際の始まれり  
鈴なりの実梅のうぶ毛光りをり

長尾 則夫  
木村 智子  
竹村 勝利  
宮下 峰月  
小島 泰子  
中川千代子  
田口ひさ子  
濱 初榮  
若林八重子

## 御荘俳句会

花びらの自動ドアより来店す  
餅つきの威勢に買いし花弁当  
直降りの雨の一湾卯波たつ  
寄る鯉のボス幾匹か花菖蒲  
閉校となりし桜の満開に  
風の筋陽のすじちらし竹簾  
マニキュアの指を反らして茶摘かな  
畦塗や親子無言の鍔さばき

山口 董  
若林八重子

加洲勢津子

尾崎 松恵

山本 金子

## 西海俳句会

紫雲丸思う事故あり春風  
春の海お隣さんは散髪日  
昔からの友逝き心痛む春  
磯行きの船に少年春休み

利根早智江  
吉田 朝子  
吉田 笑代  
吉田 弘定

## 新くさの葉短歌会(はこべ)

リンドウの花と手桶に水をさげ月命日の夫に詣でぬ  
昨夜の嵐に散りてたまりし桜の花陽に香りつつ木下にかわく  
揺れに揺れし地震おさまり布団より顔出し大息ひとつつく  
口数の少なき息子が子をあやす変わりに変わりに親バカとなりぬ  
歪つなる小皿か数多割られたる欠片残り山の傾りに

市川コマエ  
斉藤トミ子  
長田ハル子  
西崎 文恵  
前田 充

はじめまして。赤ちゃん。

4月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

4月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

山口 和子  
吉田モミエ  
小島 泰子  
吉田 朝子  
濱野 康子  
若山 節子  
三好ミキエ

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。